

# 令和3年度事業報告書

## 1 基本財産の造成状況

(単位：円)

区 分		金 額 (円)
行政	岩 手 県	10,000,000
	市 町 村	10,000,000
	小 計	20,000,000
民間	学校法人岩手医科大学	5,000,000
	一般社団法人岩手県医師会	5,000,000
	小 計	10,000,000
合 計		30,000,000

## 2 基本財産の運用状況

(単位：円)

運用先	種 別	当期末残高	基本財産 運用収入	運用実績 (年利換算)
三菱UFJモルガン スタンレー証券	利付国債(20年) (2032/6/20)	19,865,994	333,073	1.67%
みずほ証券	利付国債(20年) (2040/6/20)	9,886,450	46,138	0.46%
岩手銀行雫石支店	預金	247,556	0	0.00%
合 計		30,000,000	379,211	1.26%

## 3 庶務事項

### (1) 役員構成

(令和4年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	大 井 清 文	
副理事長	小 川 彰	学校法人岩手医科大学理事長
〃	小 原 紀 彰	一般社団法人岩手県医師会長
専務理事	八重樫 一洋	いわてリハビリテーションセンター副センター長(事)
理 事	小 原 勝	岩手県医療局長
〃	佐 藤 義 朝	いわてリハビリテーションセンター副センター長(医)
〃	主 濱 了	岩手県市長会代表(滝沢市長)
〃	高 橋 昌 造	岩手県町村会代表(矢巾町長)
〃	野 原 勝	岩手県保健福祉部長
監 事	佐々木 政徳	公認会計士
〃	長 澤 秀 則	岩手県市長会事務局次長

## (2) 事務局の構成

(令和4年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
事務局長	伊 勢 貴	業務推進部長
事務局次長	山 内 健 幸	業務推進課長 (総務担当)
書 記	鎌 田 隆 一	業務推進部副部長 (医事担当)
〃	高 橋 広	業務推進部副部長(予算経理担当)
〃	村 上 正 晃	業務推進課長(企画担当)
〃	佐野峯 卓哉	主 事

## (3) 理事会の開催

## ア 第17回理事会

日時 令和3年6月2日(水)14時00分から

場所 ホテルニューカーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和2年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和3年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 令和3年度定時評議員会の招集について

## イ 第18回理事会

日時 令和4年3月9日(水)14時00分から

場所 ホテルニューカーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和3年度収支補正予算案について

議案第2号 令和4年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 職員就業規程の一部改正について

議案第5号 役員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する規程の一部改正 及び 評議員及び役員の報酬等に関する規則の廃止について

議案第6号 理事への使用人職務の委嘱及び解嘱について

議案第7号 令和3年度臨時評議員会の招集について

## (4) 評議員会の開催

## ア 第17回評議員会

日時 令和3年6月23日(水)14時00分から

場所 岩手県教育会館 多目的ホール

議事 議案第1号 令和2年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和3年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 理事9名の選任について

議案第4号 監事2名の選任について

議案第5号 評議員11名の選任について

## イ 第18回評議員会

日時 令和4年3月24日(木)14時00分から

場所 ホテルニューカーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和3年度収支補正予算案について

議案第2号 令和4年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 役員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する規程の一部改正 及び 評議員及び役員の報酬等に関する規則の廃止について

議案第5号 理事の選任について

#### 4 事業の実施状況

##### (1) リハビリテーション医療事業

###### A 入退院患者の状況

###### ア 1日平均入院患者数

	令和3年度	令和2年度	増減
患者数(人)	85.6	83.5	2.1

###### イ 患者数の状況 (単位:人)

令和2年度末 入院患者数	令和3年度 入院患者数	令和3年度 退院患者数	令和3年度末 入院患者数
82	451	442	91

<参考>

令和元年度末 入院患者数	令和2年度 入院患者数	令和2年度 退院患者数	令和2年度末 入院患者数
81	427	426	82

###### ウ 平均在院日数

	令和3年度	令和2年度	増減
在院日数(日)	69.0	70.5	△1.5

###### エ 退院先

令和3年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	338	65	39	442
構成割合(%)	76.5	14.7	8.8	100

<参考>

令和2年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	329	70	27	426
構成割合(%)	77.3	16.4	6.3	100

###### オ 入院患者の疾患別内訳

令和3年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	296	41	65	35	14	451
構成割合(%)	65.6	9.1	14.4	7.8	3.1	100

<参考>

令和2年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	288	23	74	9	33	427
構成割合(%)	67.4	5.4	17.3	2.1	7.7	100

###### カ 主な保健医療圏別患者数 ※前掲(1)Aイの入院患者数の内訳

令和3年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	183	73	36	22	37	30	43	27	451
構成割合(%)	40.6	16.2	8.0	4.9	8.2	6.7	9.5	5.9	100

※その他の内訳:久慈12人、両磐8人、県外7人

<参考>

令和2年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	213	47	20	34	31	16	42	24	427
構成割合(%)	49.9	11.0	4.7	8.0	7.3	3.7	9.8	5.6	100

※その他の内訳:久慈8人、両磐6人、県外10人

キ 平均年齢 (単位：歳)

令和3年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	62.5	66.2	64.0

<参考> (単位：歳)

令和2年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	65.4	63.4	64.0

B 外来患者の状況

令和3年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数 (人)	3,549	317	41	105	657	158	506		1,784

<参考>

令和2年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数 (人)	3,513	443	47	108	781	102	439		1,920

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	31,259	30,489	770	
	1日平均患者数	85.6	83.5	2.1	
外 来	延患者数	3,549	3,513	36	
	1日平均患者数	14.7	14.5	0.2	

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	備 考
泌尿器科	317	443	△126	
耳鼻咽喉科	41	47	△6	
眼 科	105	108	△3	
歯 科	657	781	△124	
循環器内科	158	102	56	
糖尿病代謝内科	506	439	67	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

令和3年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	42	5
延訪問回数 (回)	2,163	247

<参考>

令和2年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	42	5
延訪問回数 (回)	2,342	263

E 通所事業の状況

令和3年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	23
延利用回数 (回)	888

<参考>

令和2年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	24
延利用回数 (回)	691

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

令和3年度	154件
令和2年度	155件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ① 雫石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席  
派遣回数7回、派遣職員数延14人
- ② 市町村主催の「シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」講師等派遣  
派遣回数2回、派遣職員数延3人、被指導者数延18人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施  
開催回数4回、派遣職員数延34人、被指導者数延65人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年4回、関係機関に送付及びホームページに掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（WEB）
- ・広域支援センター圏域連絡協議会への出席、研修会への講師派遣等  
4圏域、5回（全てWEB開催）、従事職員数延6人

E 介護予防研修会等

「高齢者健康・体力づくり指導者セミナー（岩手県スポーツ振興事業団主催）」講師派遣  
派遣回数1回、派遣職員数1人、被指導者数75人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター3名及び地域支援コーディネーター3名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。  
相談件数延べ1,195件、実人数100名
- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催  
2回開催、出席者数延べ43名
- ・具体的な支援手法の検討を行うための圏域相談支援コーディネーター会議の開催  
1回開催、出席者数延べ14名
- ・支援の普及に向けた研修会の開催  
5回開催、参加者数延べ90名
- ・地域における支援体制整備のための支援  
県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
- ・事業周知のためのPR・広報活動の実施  
ホームページやメールニュースを動画配信通じて理解と支援の拡大を図った。

G シルバーリハビリ体操指導者養成事業

14市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・ 3級指導者養成講習会（5日間）  
開催回数2回、従事職員数延50人、養成数17人
- ・ 2級指導者養成講習会（4日間）  
開催回数2回、従事職員数延45人、養成数27人
- ・ 1級指導者養成講習会（4日間）及び実習（5日間）等  
開催回数1回、従事職員数延36人、養成数8人
- ・ 指導者会のフォローアップ、通いの場の評価等  
開催回数1回、従事職員数延1人、被指導者数20人
- ・ フォローアップ研修会（WEB開催）  
開催回数1回、従事職員数11人、参加者数232人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会（WEB開催）  
開催回数1回、従事職員数11人、参加者数204人

H 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

- ・ 来所相談（会場：岩手県福祉総合相談センター）

担当医師名	相談回数	補装具相談件数（非該当を除く）						計
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	
佐藤義朝	6回	5件	26件	35件	15件	1件	0件	82件
阿部深雪	6回	5件	41件	24件	22件	2件	0件	94件
計	12回	10件	67件	59件	37件	3件	0件	176件

I その他

- ・ 「岩手県地域リハビリテーション連携指針」改定作業部会への出席2回、派遣職員数延4人

(3) 教育研修事業

A 保健福祉等高齢者施設職員等研修会

- ・ 呼吸リハビリテーション研修会（WEB開催） 開催回数1回、受講者数60人
- ・ 高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延60人

B 患者家族教室

栄養教室 開催回数12回、参加者数延71人（面会制限により患者のみ対象）

C 学生受け入れ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ  
延18校、実166人(延808人)

D リハビリテーションセンター体験学習

岩手医科大学医学部・歯学部介護体験実習 2回、10人（延20人）  
インターンシップ・見学実習等 3回、4人

E 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 31回、受講者数延1,443人

F 院内職員研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実技講習は人数を分散して開催し、研修は主にスライドや動画等を個人で視聴する形式で行った。

開催回数20回、参加者数延1,434人

時期	研 修 内 容	受講方法	受講人数
R3.7 ～8	医療安全① AED 実技講習 「一次救命処置(BLS)について」	実技講習 (5回)	123名
R3.8	医療安全② 個人情報保護 「診療情報管理と個人情報の保護」	個人視聴	157名
R3.9 ～10	メンタルヘルス講習 「15分でわかるメンタルヘルスケア」	個人閲覧	143名
R3.10 ～11	接遇研修 「適切な敬語を身に付けよう！」	個人閲覧	169名
R3.11	院内感染① 「新型コロナウイルス抗原検査検体採取実技講習会に向けて」	個人視聴	150名
R3.11	院内感染② 「新型コロナウイルス抗原検査検体採取実技講習会」	実技講習 (6回)	123名
R3.12～ R4.1	「褥瘡を理解する(総論)」	個人視聴	137名
R4.2 ～3	医療安全③ 「医療安全をめぐる話題と当センター薬剤科の取り組み」	個人視聴	92名
R4.2 ～3	医療安全④ 「医療ガス安全管理講習会」	個人閲覧	99名
R4.2 ～3	医療安全⑤ 「令和2年度インシデント報告・転倒転落報告」	個人閲覧	131名
R4.3	臨床倫理研修 「身寄りのない人の意思決定支援」	個人視聴	110名

#### G 普及啓発

- ・いわてリハビリテーションフォーラム

一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

※令和3年10月2日(土)アイーナで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催1か月前に中止

#### (4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

#### 研究内容

##### A 令和3年度研究発表業績

##### ア 診療部

##### 《医局》

1. VE 検査で喉頭蓋の咽頭後壁接触を認めた症例の特徴

いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、熊谷瑠里子、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、大井清文、岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成  
第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2021年6月10日

2. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による令和元年度までの5年間の活動の拡がり  
と課題について

いわてリハビリテーションセンター診療部○大井清文、阿部深雪、森潔史、熊谷瑠里子、遠藤英彦、佐藤義朝、岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成  
第58回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2021年6月10日

3. パーキンソン病における後進歩行とBWSTTが及ぼす歩行とF波の変化

いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、熊谷瑠里子、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、大井清文、岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成  
第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 愛知県(WEB) 2021年11月12日

4. 新型コロナワクチン接種後に再発性の抗 GM1 抗体陽性 Guillain-Barre 症候群を発症した一例  
いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、熊谷瑠里子、森潔史、阿部深雪、  
遠藤英彦、大井清文、岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成  
第 51 回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県 (WEB) 2022 年 3 月 5 日

#### イ 看護部

5. 脳梗塞後遺症による社会的行動障害 (易怒性と脱抑制の家族理解を促す介入)  
○佐藤絵里香、後藤由美  
日本脳神経看護研究会東北地方部会 秋田県 (WEB) 2021 年 11 月 6 日
6. 大動脈解離術後の低酸素脳症による嘔気・嘔吐症状を呈した回復期リハ病棟入院患者への介護  
介入  
○菅原夕希、西舘初美、吉田奈央、中村令子 (東北福祉大学 健康科学部保健看護学科)  
回復期リハビリテーション協会第 39 回研究大会 in 東京 (オンデマンド) 2022 年 2 月 4, 5 日

#### ウ 機能回復療法部

##### 《理学療法科》

7. 岩手県におけるシルバーリハビリ体操のコロナ禍での取り組み～市町村の体操教室の実施状況  
に着目して～  
○青山祐、小志戸前奈那 (OT)、村上敏昭、山崎麻友 (OT)、山本恵利香 (OT)、渡部祐介 (OT)、  
佐藤英雄、高橋真由美 (地域支援部)、八重樫一洋 (地域支援部)、大井清文 (診療部)  
第 22 回岩手県理学療法士学会 岩手県 (WEB) 2021 年 6 月 22 日
8. 発症 5 ヶ月から介入を開始し、歩行自立、自宅退院に至った脳出血の一症例  
○小川貴大、中村一葉、佐藤英雄、森潔史 (診療部)  
第 22 回岩手県理学療法士学会 岩手県 (WEB) 2021 年 6 月 22 日
9. 身体障害者のバス乗車における運転手向けリーフレットの作成-社会復帰を果たしたギラン・バ  
レー症候群患者の活動への協力-  
○江口舞人、渡辺幸太郎、関公輔、佐藤英雄、清水将 (岩手大学 教育学部 保健体育学科)  
第 22 回岩手県理学療法士学会 岩手県 (WEB) 2021 年 6 月 22 日
10. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の 6 年間の経緯と課題  
○佐藤英雄、青山祐、村上敏昭、渡部祐介、高橋真由美 (地域支援部)、八重樫一洋 (地域支援  
部)、大井清文 (診療部)  
第 39 回東北理学療法学会 宮城県 (WEB) 2021 年 9 月 11 日～12 日
11. 岩手県内のリハビリテーション医療における下肢切断患者に対する理学療法調査  
○村上敏昭、関公輔、佐藤英雄  
第 9 回日本運動器理学療法学会 岐阜県 (WEB) 2021 年 9 月 11 日～12 日
12. 当センターにおける神経画像情報の臨床活用に関する現状と課題  
○加藤駿太郎、佐藤弘樹、佐藤英雄、関公輔  
第 19 回日本神経理学療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 12 月 18 日～19 日
13. 回復が遅延したギラン・バレー症候群患者に対する理学療法の経験-自宅復帰までの身体機能の  
回復過程  
○工藤寛智、田中香穂里、佐藤英雄、佐藤義朝 (診療部)  
第 19 回日本神経理学療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 12 月 18 日～19 日
14. 当センター回復期病棟におけるギラン・バレー症候群患者に対する mEGOS の使用  
○江口舞人、山下浩樹、関公輔  
第 19 回日本神経理学療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 12 月 18 日～19 日
15. 脊髄障害を有する症例の起き上がり動作の可否に関連する因子  
○千葉終兵、関公輔  
第 19 回日本神経理学療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 12 月 18 日～19 日
16. 発症から 4 ヶ月後、遷延性意識障害を呈した被殻出血患者に対する理学療法経験  
○高山僚平、山下浩樹、関公輔  
第 19 回日本神経理学療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 12 月 18 日～19 日
17. 令和 2 年度における地域リハビリテーション関係職員研修会の意義と問題点～研修会終了直後  
と 3 か月後のアンケート結果から～



○渡邊充、大久保訓 (OT)、佐藤宏之 (Nrs)、上斗米律子 (Nrs)、高橋真由美、  
八重樫一洋 (地域支援部)、大井清文 (診療部)  
回復期リハビリテーション病棟協会第 39 回研究大会 in 東京 (ハイブリット開催)  
2022 年 2 月 4~5 日

1 8. 新型コロナウイルス感染症による岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業への影響とその対応

○佐藤英雄、高橋真由美 (地域支援部)、八重樫一洋 (地域支援部)、大井清文 (診療部)  
回復期リハビリテーション病棟協会第 39 回研究大会 in 東京 (ハイブリット開催)  
2022 年 2 月 4~5 日

《作業療法科》

1 9. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の経過～コロナ禍でのシルバーリハビリ体操の意義について～

○小志戸前奈那、渡部祐介、佐藤英雄、高橋真由美 (地域支援部)、大井清文 (診療部)  
第 31 回東北作業療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 7 月 1~25 日

2 0. 当センターで実施している視覚散策課題における健常者の平均所要時間の調査

○平彩花  
第 31 回東北作業療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 7 月 1~25 日

2 1. 自己効力感と認知された障害に着目し、行動変容を目的に重度片麻痺患者へ CI 療法を実施した一症例

○千葉聖矢、山本晶子  
第 31 回東北作業療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 7 月 1~25 日

2 2. 患者参加型カンファレンスの実施にて、患者の主体性の回復に繋がった症例について

○片石彩季、畠山真弓、山本恵理香  
第 31 回東北作業療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 7 月 1~25 日

2 3. 早期から自助具を使用したことで趣味活動再開につながった片麻痺の事例

○多田千春、渡部祐介  
第 31 回東北作業療法学会 岩手県 (WEB) 2021 年 7 月 1~25 日

2 4. いわてリハビリテーションセンターにおける職場訪問の傾向について

○渡部祐介、鷹觜悦子、佐藤義朝 (診療部)  
第 55 回日本作業療法学会 宮城県 (WEB) 2021 年 9 月 10~11 日

2 5. 岩手県内におけるシルバーリハビリ体操指導者会の活動について～指導者会の会長インタビューより～

○渡部祐介、小志戸前奈那、青山祐、村上敏昭、佐藤英雄、高橋真由美 (地域支援部)  
八重樫一洋 (地域支援部)、大井清文 (診療部)  
リハビリテーション・ケア合同研究大会兵庫 2021 兵庫県 (WEB) 2021 年 11 月 18~19 日

2 6. 当センターで実施している視覚探索課題における健常者の平均所要時間の調査

○平彩花、小笠原未来、大久保訓、大井清文 (診療部)  
回復期リハビリテーション病棟協会第 39 回研究大会 in 東京 (ハイブリット開催)  
2022 年 2 月 4~5 日

《言語聴覚科》

2 7. ジャルゴン発話の気づきへの介入

○小川裕太  
岩手県言語聴覚士会 第 3 回学術集会・症例検討会 岩手県 (WEB) 2021 年 11 月 27 日

2 8. 嚥下失行が疑われた一症例

○小笠原観菜  
岩手県言語聴覚士会 第 3 回学術集会・症例検討会 岩手県 (WEB) 2021 年 11 月 27 日

2 9. 軟口蓋振戦を伴う嚥下障害に頭・頸部屈曲位による直接訓練を継続し 3 食経口摂取となった脳出血後遺症の 1 例

○乳井亮輔  
岩手県言語聴覚士会 第 3 回学術集会・症例検討会 岩手県 (WEB) 2021 年 11 月 27 日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年 1 回実施している。

第 53 回院内研究発表会 2022 年 2 月 28～3 月 21 日 (オンデマンド配信)

1. 自宅退院を希望する予後不良で認知機能の低下を認める患者の排泄自立に向けた看護介入  
看護部○菅野航
2. 健常者におけるホワイトボードを用いた視覚探索課題における平均所用時間と TMT-J との検討  
作業療法科○平彩花
3. リハ栄養ケアプロセスを用いて強化栄養療法を実施したパーキンソン病の一例  
管理栄養科○藤原彩花
4. 令和 2 年度における地域リハビリテーション関係職員研修会の意義と問題点  
理学療法科○渡邊充

C データベース構築及び運用 (予後予測システムの構築)

- ア データベースソフトの構築
- イ データーベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データベース入力 (約 5688 症例)
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

- ア データ管理ならびに集積情報のまとめ
- イ 集積データの分析ならびに研修会での提示

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

※COVID-19 の影響により、WEB 学会による情報収集を発表者・参加者により行う。

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア 研究開発部マガジン (1 回/月 院内向け) No. 333～343 発行
- イ これってな～に?? (1 回/月 院内向け) No. 123～133 発行  
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらおう。
  - ・ホームページの紹介
  - ・リハニュース 福祉機器の紹介
  - ・トピックス
  - ・学会、研修会情報
  - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール (運動制御) に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ CI 療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究 (VF 検査も含む)
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- ケ 自動車運転シミュレーターを用いた多発性硬化症患者における自動車運転能力の研究

## I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ データベース構築に関するシステム開発
- カ 日本神経外科学会データベース研究事業への調査協力
- キ 回復期リハビリテーション病棟調査への協力